

会 議 録

1 会議名

令和7年度第3回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的な審議】

- ・自主的審議事項について（公開）

3 開催日時

令和7年6月18日（水）午後6時30分から午後7時10分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員： 磯田会長、田中（美）副会長、古澤副会長、青山委員、稲川委員、
今川委員、鴨井委員、小玉委員、柴山委員、関谷委員、田中（実）委員、
保坂委員、増田委員（欠席者5名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター 内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【磯田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：鴨井委員、小玉委員に依頼

議題【自主的な審議】自主的審議事項について、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

前回の協議会では、自主的審議事項「地域ぐるみの防災活動の推進について」の検討を進めるため、危機管理課から能登半島地震の津波災害対応の検証の説明や、地域協議会からの質問事項について回答を受けた。

それらの説明を受けて、この自主的審議事項をどのように継続審議していくのか、もしくは、各自主防災組織がしっかりと活動して、市と情報共有を図っているということが確認できたことから、この自主的審議事項については終了し、次の自主的審議事項に向かっていくのか、今後の方向性について協議いただきたい。

【磯田会長】

今ほど事務局から説明があったが、地域ぐるみの防災活動の推進について、前回の市からの説明を受けて、今後どうしていったらいいかご意見をいただきたい。

市の説明から、市と町内会が二人三脚で防災の課題に取り組んでいるという状況が伝わってきたのではないかと思います。また、町内会も多少の温度差はあるが、市と一緒にいろいろなことに取り組んでいこうという状況は理解できたのではないかと思います。

そのような状況の中で、地域協議会として何か取り組んでいく、あるいは動いていく必要があるのかどうか、何かあるとすれば、協議会の自主的審議の課題の中で進めていく、注力していくようなことが必要ではないかと思う。

私の感想としては、地域協議会が町内会等に何か一緒にやりましょうと働きかけることは難しい状況ではないか、協議会として動くべき課題があるかと言われると、市と町内会で動いていることに対して、その上から地域協議会が何か言うのは難しい状況ではないかと思っている。

その辺について、一番よくご理解されている古澤副会長のご意見をお聞きしたい。

【古澤副会長】

前回、私たちが受けた「能登半島地震の津波災害対応の検証」の説明は直江津地区や五智地区の町内会長協議会でも説明されており、直江津区内への説明は、ほぼなされていると思っている。

私としては、避難場所を示す立て看板について、町内会が危機管理課に要望すればいくらかでも支給してもらえるのに、町内会が一体的に取り組んでいないので、発信していこうと思っていて、防災士会と危機管理課で研修会等を行うタイミングがあるため、そこで発言しようかと思っている。

地域協議会としてどうするかは、防災士会、あるいは町内会長協議会の皆さんから来ていただいて、話を聞くしかないと思っている。

関谷委員、防災士会直江津支部としていかがか。

【関谷委員】

要望があれば実施できると思うので、防災士会についていろいろ知っていただく意味でも、話し合うのはいいことだと思う。

【古澤副会長】

防災士会と地域協議会が連携することはいいことだと思う。

ただ、防災士会がどのようなことを課題と考えているのか挙げてもらわないと、地域協議会で揉むことができないので、そういった機会が必要と考える。

【増田委員】

前は、市の担当課から話を聞いただけで、私たちの中で話し合いをしていないので、委員間で理解に差があるように思う。確認の意味も含め、説明を受けたがこれはどうなのか、問題がありはしないかという話し合いの場を設けて、お互いの理解をもっと深めた方がいいと思う。

もう1つは、過去に地域協議会として、地域の防災力向上のためということで地域独自の予算事業に提案しようと検討したが、話がまとまらなかった。改めて防災士会、あるいは町内会長協議会とも協力しながら、直江津区の防災力の向上という観点で、何ができるか話し合いを持った方がいいのではないかな。

いずれにしても地域協議会として、町内会と市が地域防災について考えているからいいと傍観する立場にはないと思うので、どちらが上とか下ではなく、地域協議会も同列で一緒に考えるというスタンスで続けていければいいのではないかなと思う。

【田中（美）副会長】

前回お話をお聞きし、また古澤副会長のお話を聞いて、防災に対して市も一生懸命取り組んでくれていて、前向きだと感じた。

協議会として防災について何ができるのかについて、結局、防災については市にやってもらった方がいいのではないかな。町内会ごとに温度差はあるが、それに対して、私たちから町内会に物申すことは難しいので、私たちとしては、防災士会や町内会長協議会の皆さんと話をし、私たちの町内はこうだとか、よくやれているところはこのような感じだというように、情報交換をしながら、その情報をいろいろな町内に広めていって、

いい方向にいけばいいと思った。

【柴山委員】

防災について地域協議会が関わるというと、漠然としていて難しいが、防災士会と地域協議会との密なる連携は必要ではないかと思う。先日、国府小学校で避難所開設についての研修会に参加したが、危機管理課の説明が一方通行な気がして、実際にマニュアルどおりに動くのは難しいのではないかと感じた。

地区や町内に必ずではないが防災士がいるので、そういう人たちとのコミュニケーションも大事ではないかと思う。各町内の課題もあり、直江津地区と五智地区では全然違う避難の仕方もあると思うので、そういうところは今後の課題になるのではないかと思う。

【関谷委員】

柴山委員がおっしゃったように、防災というと漠然としすぎて、おそらく皆さん、どこからどう食いついていけばいいのか、わからないのではないか。

防災士である私たちも全部わかっているかという、そんなことはない。防災士会直江津支部でも学習会をしており、6月26日にも市民安全課もお呼びして実施予定である。皆さんも防災士会がどんなことをしているのか知ることによって、自分たちができるのはこの部分かもしれないといったところが見えてくるのではないか。

6月26日の学習会に参加していただいて、防災士会と市がどんなことを勉強しているのか見ていただくのも一つの方法ではないかと思う。

【磯田会長】

いただいた意見からは、防災士会と連携を密にしながら、防災に関する啓蒙や、町内会や市の活動を住民に知ってもらうということが必要ではないかと感じた。そういう意味では、防災士会の活動をもう少し我々が理解をしていく、あるいは何か活動したいことがあるとすれば、来年度の地域独自の予算事業と一緒に作り上げていくというようなことがあってもいいのではないかと思う。

【保坂委員】

まず、地域協議会の立ち位置というものがよく分からなくて、皆さんの意見を聞いて、今ぼんやりと分かってきた状態である。

先ほど関谷委員がおっしゃられたとおり、防災といっても漠然としているので、何をどこから進めていいのかわからない。

取り掛かりとしては、話に出た防災士会との意見交換で課題等を聞いて、地域協議会で何ができるかというところから入っていくのがいいのではないかと感じた。

【稲川委員】

私も保坂委員と同じ意見である。意見交換から挙げられた課題に対して、どう地域協議会が働きかけることができるのかを考えるのがよいと思う。

【磯田会長】

私からの提案だが、次回以降、防災士会との意見交換の場を設けさせていただくに調整をさせていただきたいと思うが、皆さんよいか。

（委員同意）

地域活性化に向けて審議する項目として、防災に関するもののほか、福島城に関する事、三八朝市に関する事、五智公園に関する事がある。

現状、福島城に関する事については、福島城を愛する会の三役の皆さんに来ていただき、意見交換を行えるよう、事務局に動いていただいたが、その報告をお願いする。

【石崎係長】

福島城を愛する会について、意見交換の連絡をしたところ、現在組織体制の調整中のことで、意見交換を行える状態にないとのことだった。体制が整ったら連絡をくださるとのことだったので、体制が整ったところで、意見交換会の日程を調整させていただきたい。

【増田委員】

福島城は直江津にとって非常に歴史的価値がある。これは民間だけで保持していくのではなく、行政も絡んでいただく必要があると考えるので、福島城のことをどのように考えているのか、行政の考えをどこかで確かめないといけないと思う。

【磯田会長】

確かに、行政がお宝である資料をどうしたいのか、あるいは市全体として福島城の立ち位置をどのように考えているのかということは、一度確認をする必要があろうかと思う。

市から来ていただいてお話を聞くことが必要かどうか。行政としてどのようにしていきたいのか、意見交換をしたほうがよいと思う方は挙手を願う。

（賛成多数）

どのタイミングでお願いできるかはわからないが、事務局に調整していただく。

それらの協議が終わった後、あるいは同時並行して、五智公園や三八朝市の話も進めていかないといけないと思う。1つの課題がすぐに解決して次の課題へということは難しいので、五智の話等も同時並行的に進めていければと思っている。

月1回の協議会の中、そういうことを盛り込んでいながら進めていきたいと思っている。

その他について、事務局何かあるか。

【石崎係長】

- ・次回協議会の日程について説明

【磯田会長】

- ・次回協議会：7月15日（火）午後6時30分から
- ・次々回協議会：8月19日（火）午後6時30分から

ほかに意見等はあるか。

【増田委員】

地域協議会は地域住民の皆さんと行政のつなぎ役という役割もあると思う。地域の皆さんが何をどう考えているのか、ご意見を伺うことが必要だと思う。その中から、新しい自主的審議事項が出てきたり、あるいは地域の皆さんがこれに力を入れてやってほしいというような要望が出てきたりするかと思うので、今後の日程の中に、地域住民の皆さんや地域の団体の皆さん、町内会長の皆さんと意見交換をする日程を、是非組み入れていただきたいと思います。

それから先ほどの、五智公園や福島城、三八朝市について、話の具合によっては、行政から予算化してもらわなければいけない案件が出てくるかもしれない。そうすると予算化するタイムリミットは10月になると思うので、それまでにある一定の方向性をつける必要があると思うので、是非スケジュール調整をお願いしたい。

【磯田会長】

地域住民、地域の団体、町内会長さんと意見交換をすべきではないかのご意見があった。それから、現在進めている自主的な審議の課題についても、市の予算時期を見据えて、早急に進めなければいけないのではないかなというお話があった。

前半の地域の人たちとの意見交換、団体、町内会長さん等との意見交換について、やるべきだと思う方は挙手を願う。

（賛成多数）

それでは、これについて向かっていく方向で、事務局と協議、調整していきたいと思う。

今進めている課題については、早急にということは難しい話だと思うが、協議の中で事業化、予算化が必要であれば、そういう部分も含めて検討していくということでよい。

(委員同意)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。